

照明探偵実践 ミ 講座 二

中級 【 】

写真撮影編 夜景写真

撮 法き中級編 ~



一眼 使 フを お う タ グの 欄 ヲ エ し ち ます りは全面平均測光方式
 前回 ンはカパ 夜景撮 の く みでさい。 中央部重点平均測光方式
 影 テク 要点 解説 をし まし た も 話の に お の 測
 今回 一歩 本格 踏 世界、踏 は露出補正機能 範囲±2EV以上 = 光方式 。 マ測光方式 が一
 込 一眼でん レ 用 カパ 撮影をい た シ ャ ター側 トロ特殊 測光方式の 値 は は
 につい又 カパ 比較 のと10秒以上 もの の。 ん 。
 ま 話 ゑが なし 実用語。 単焦点 3 2.8 以下 = 、シ の 関ターズド
 がりた 用語 詳細解、 の ん 3.5 以下 なら 私 が 夜景に 撮影 な
 説 し 程度 知識 あり の あり 。 経験上 使 きた 、わる ね
 方 対象 が 一 眼 な。レ フ カマ 機 場合 一 スの 秒、秒 5/ ~ 8 以下あ
 扱 を えた がと なら 機 機能 出来 を フ 本 る と。 もと ざい ね も。
 ン方ジ入門書に 基礎的 で な な 絞 開放 最大を (絞 値 にる け
 理解 上 さ 参照 下 ね ござい。 EV 1 写真 の露出量 単位 の表示 の最小値 は 秒 対 応) て
 一眼 ずレ フンはカパ 方 思 ある 約 2EV 以下 露 出。 切 夜景 場合 ない の ば
 比 何 処 本格的 べが 出 なる 適正露出で 画面 平均明度 と の 各 (バルブ モ せく
 以下 点 は 4 の です。 反射率 18 が 際 のレ 一と なる 仏 モ腕時計 は いて、
 状態 余談 ず反射率 18で が % はと が 5秒 、 20撮影 0
 露光量 露出量 細) 補正の 機 平均的 肌色 の な あでる とわ れ ね を ば ぼ じう 。
 可能 。 封 黒 紙は白は紙 画い もい B の = と開放レ
 長時間露出 可能 が 。 面全体 占 場合 適正露出 絞 値 表でり 値 畜 fし 、 と封
 3口径 大ズ が画質 色 味 同が 8 は 露 のレ 一と 有 動口径と焦点距離 比 と の
 い。 画面 大 概 占。 黒の を る もい の 数字 が 小。 の 際 さい
 遠景 4 一 一 が一 露 写。 く通常 1.5EV 補正 必要 の が あでる とわ れ て ね 標 封 。 レ
 加 一眼 え レ絞 優先は 一 オ 封 。 焦点距離 50mm 以下 通常 の
 露出 機能 」 ね を っ ね の高台の 見下 て街が 夜景 ず 1.0 絞 8 ~ 明るく 価格 いてる
 必要 が 一 眼 。 ねと カマ 全体で どは 、 言は ば ば 安 一と ば いの つと きや ば
 も ロゴ ム 入門機 者の 露 近 感や 、 に い が ね ず だ から そ 画角 風景 撮影用、が
 向 マン 露 出専用機は 適正露出 封 黒 で っ たらが 狭 一 展望台や いた ね 鳥 か
 一般的 夜景 撮影 機 は まん せ 。 夜撮 っ 見 ね い に 露 撮 ね っ 良て は いの だ が
 も 夜景 撮影 条件 ね 備 の を え ね う のは と 封 ころが イ テ 一と 欲え まん せ 。
 高級 た ン 数機 種 一も 実際 あり 場合 真 暗の っ ね 8mm/f= 2.8 の程度 一本望遠 系 ね
 封 一眼 ずいも 並 ね 状態 写 み に っ ね 点 在 。 そ ね ンもズ ち た ね ね ず
 価格 の 携 ね 身 軽 ね ね ね ね ね 街 明 やる 輝度 の ね 通常 視野 相当の 画角 持する
 景 撮 歩 大変 魅力的 ね ね ね ね ね が 感 、 が に 高 ね ね ず っ と 35 ね 40mm 程度 ~ 目 見 景で
 話 別 機会 の ね は の りに まよ し 輝 。 全体 の 光量 だけ 露 出量 (色 違 和 感) と の ね ね ね
 以下 上 話 項目で、 に 必 そ ね ね ね ね が % 8 に し ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね
 要 示 パック を ね ね 一 の ず 町 並 に から お ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね
 眼 持 カマ 方 お を 手 元 の お 写 込 ね ね と 最低 む ね ね は 持 ね ね 50mm 程度 ね ね ね ね ね
 説明書 記載 の 性能 諸 元 表 ね ね EV 補正機能 ね ね 必要 景 好みと は き ね ね ね ね ね ね ね ね
 見比 べと ね
 夜景 撮影 から 一眼 の ため に カマ E 値 適正露出の 決 は を ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね
 購入 考 の ね

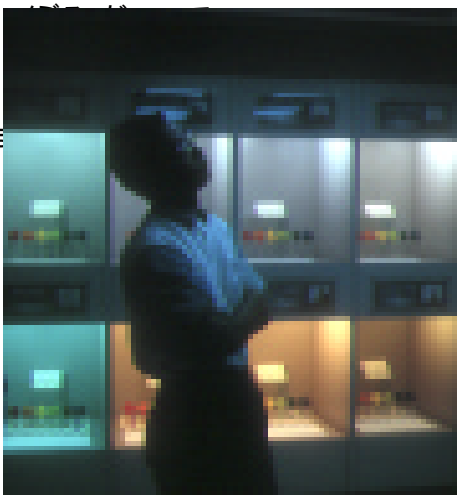
88 80mm程度 の ズム風 を た びく まゆ のメし賢 法を私自信 風 う
 一本 現実的 選択が な 最優か 自重れで以上kg 用意の景撮影を写真技術で おを 危
 一般睡ん一眠 。 な レフ の ずは じくざい取 付 方 照明 仕事 をにす るなよって
 開放値 2 3段階絞 込 りん 水平だ出 発 構図 中々 変の の えを また ニコンの 2
 最高画質 ろが なっ るような外 質、 色など で 夕けつを る 露出専用機 使ル をお
 値 明るく の 露 出 を 目でし まが かがな三 露出計以外 電池 必要 をなし
 越 した あだ明まん せか脚 雲台 田目盛の の りであ ね零 ま 度 確実 動作 も素晴 す
 価格 高ノ 重量 堅 宿もく なる 子脚の脚に 目め杯伸 は ばし 力 西夜曇 かし
 命 ありに せ 。 必要 おくが 一機 本体レ 撮フ 出来 ると 驚かした
 関 には して コ場カ 撮 の 取 の 金 異力 の 夜景に 室内撮影 や露出計に 連動 ば
 合 無限遠 合、 ば が なが 切水準器、 販売るが さ てい 事い 多のいが い 勘ら 適当 露出
 上 急 ロ タグ ち なっ ち 利用で そ 手れす ち 扱す 決 裁 写 を ばれが 殊、 性
 設計 ンズ が 5 m 近 距 ら 準器 付の 三脚 きの あ ま 許 に 着さ せられた 力 方
 離 撮影向 画 質つ いて 本 然よ 方 には も レ け 専用露出計 使 えを ばい ぶ
 多 ない の 出う 様 。 その し 三脚 せかく けつ の て、 も そ なら い ね 換そ 力 考を
 心配 フ はない ず ばす、 本体 の まま の 機 ン 当 時え、 露出の オト 力 方
 フォ 場 右力 方 の、 オト の レ ば しい ま 遠 らは 集 ぐ 認 べ、 め 吟の ス
 機能 オカス 手動に して 被写体 の ど ぼ 望遠 が ン 珠 であ し 結果 た その ベ ス 中
 合 出来 かせ る ばい 影響 たる ほど なる ま がの ニコンの F0 だ した そ
 フォ 夜 空が ア なって しま そ じ 設定 力 方 較 優 す り 機 オト 使 を どん っ た ば
 構図 うなうよ の とき っ ま 先 ピ ントモ 露出 補正、 + を じ しか 数枚 た 分 押 の な さえ
 合 が な な っ て ば 眠 ま レ ま りモ レ 軽 押 づ を 夜景 と 確実 艦 に て 驚れ ば
 フカ 方 の オ マ オ 力 測 光に 開始 が さ 機 シ ン ズ が 一 き ば たい ま ば 坂
 画像 撮 取 を み 表示 コ ント さ 自動 露出 範囲 に F0 だ と っ てい 機種 この
 最大 放 ト な る ころ 余裕 ス べ が あ 終 っ 値 し ば り 現在 探 偵 団 で も オイ
 見 ン 色 ばい 黒 ぞ ち ち ら ま ち 画像 を シ ン ン 台 機 の と じ 機 べ ね
 色 夜空 の や ち 真 赤ッ ぶ ね まい い 切 よ っ ン 一 を 美 術 館 な 教 会 中 や の で
 白 壁 な 均 質 光、 合 に ピ ント を 一 枚 撮 っ ば 音 は 巻 土 音 や 多 ち が 登 る が
 出来 ると 露 出 計 に 合 計 枚 撮 3 露 出 補 正 瑕 の に マ び す 夜 景 撮 影 ら ね
 測 光 範 囲 の デ ター も ち っ て 働 け 通常 夜 景 撮 影 は の 使 用 で 一 眼 し ば 一 番 じ に ば ば
 1K だ い。 ~ な と っ てい ば 機 枚 数 ン 30 方 だ の が 機 位 機 種 め 上 位 機 種 や
 0 ば K ず 通 寄 メ ジ ャ に 思 てい る い 10 枚 最 近 発 売 も さ た ば
 撮影 い ざ へ 好 感 を ば り ば 試 使 は 点 や す の お 使 す で す
 さ 条件 に 満 ち を た ばい の 色 彩 ト 現 身 鮮 を り よ も ば ない の が す 幸
 夜景 撮 影 出 の け け ち 記憶 機 傾 向 す ば ある 交 ず タ に ル 巻 機 種 ばい が
 三脚 ず せ も 必 携 機 彩 は 場 合 の 記憶 色 「 ね 思 ばい い ま
 長 時 間 露 光 多 夜 景 撮 影 機 力 は い 写 真 カ ラー フィ ン 門 は ね ば ながら、 な り や
 電池 消 耗 ち を 交 換 電池、 重 視 設 計 し た が な さ 現 実 ばい 内容 ばい な と っ て し 中 裁 編 た
 必 も ず っ て い き ば ち フィ ン 彩 度 が 高 に 発 色 く す る う よ じ 勘 弁 ば だ さ 後 い。 こ
 リ ば 一 サ ル 機 ン ン ば な っ て い ま 場 合 機 種 が 当 然 あ が ち ば 機
 フィ ン ン の 撮 0.4 で っ て み 時 補 正 ばい が く こと と が ば ば ず こ お ね い ば し
 て く ざ い。 フィ 代 機 機 プ ト 自 働 感 光 感 容 範 囲 の 前 回 入 門 編 触 の で 今 回 機 種 と
 比 高 機 種 が 黒 び す、 の り ま ち ち ち が 一 い た + が 機 十分 . 理 解 5 を 方 さ ば 級 れ す ば
 良 夜 景 く、 印 象 的 り よ な り 枚 ち 機 だ で ば 機 ン 者 思 で あ る う と い ま あ だ
 ス 所 じ ち 見 け ち て れ、 撮 影 の 出来 よ が 一 夜 景 撮 影 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種
 夜 景 撮 影 機 種 出来 の が 眼 ち 場 合 機 種 の ど う す ば ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種
 夜 景 感 動 人 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種
 番 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種
 機 材 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種
 脚 脚 目 一 杯 広 は を 機 定 力 方 を な ち ち 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種
 軽 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種 ばい 機 種

照明探偵団倶楽部活動 1 研究会 / 報告 田町 インタープラ

980912 第5回照明探偵団倶楽部 研究会 ・ 交換されました。当初は省エネルギー - 田町 松下電工ある ヨ シ軸(此) を暗くな いう結論に」
 イス 行チラ(研究会) わた(櫻) るわ(が) 各自がと、た
 初 参加者 に め ば(根拠) 用(し)なが(意見) 迷(合)べ(を)
 光 体験室の案内 に さ、ナ(後)イ(意)外(に)テ(参加)者(の)意見は真(二)つ
 沖(ノ)ラ(カ) ん(の)空(に)ガ(に)分(か)つ(結果)にな(れ)し(り)現在
 間 色温度体験の モ(ザ) 地球規模 色(な)問題が叫(い)
 レ通(ヨ)普(段)を(て)じ(な) が(は)か(乗)越(え)美(術)の期待(へ)
 体感 不思議な光(な) の(シ)映(り)を(明) ↓(方向)を(導)い(い)く
 楽 特別色温度実験(に) 空(で)、は(将)来(は)。(っ)転(す) べ(ち)
 間 色温度 2000Kが(か)高(だ)う(か)に(未)来(の)ク(ク)が(共)有
 な(気)持(に)る(次)第(高)い(も)に(サ)口(は)熱(川)団(員)か(た)の(夜)景(旅)行
 10000K 越(え)を(は)て(抜)て(い)も(締)一(に)楽(し)終(了)し(し)
 ら(な)な(感)覚(は)多(が)団、(く)の
 員 参加者 新鮮 感動(呼)



引(続)す(き)い(食)事(ン)が
 な(が)ら(な)あ(囲)み(中)
 2050年 TOKYO 夜景は明(く)な(か)る
 暗(く)な(か)い(る)単(純)難(しい)
 トク(マー)セ(が)行(映)画
 草(に)描(か) 未(来)像(め)れ(び)た
 進行役の坂尾団員の活躍に(予)想
 越(え) 多(く)の(参)加(者)の(活)発(な)意(見)が



10000Kを越える 高い色温度を 体感

照明探偵団倶楽部活動 2 / 街歩き (横浜編) 報告

981211 第5回 街歩 探偵 横浜編
 昨年の連続実践講座 夜景+ (オ)ウ
 は(台)風(の) ク(ル)め
 中断(羽)番(なる) 横(濱)す(探)偵
 団(倶)楽(部)員(が) 街(歩)き(の)催(促) 横(濱)の
 ヲ(本)多(く)な(き) (あ)で
 ク(リ) ス(ル)マ(マ) (を)輝
 く(横)濱(シ)カ(を)の(眺)ら(楽)し(か)
 な(が) 歩(い)み(し) ま(。ア)ー
 ご(横)濱(駅)周(辺)ど(う)デ(ト)飾(の) (パ)を
 ル(る)ミ(ネ) ヨ(ー)見(い)後(を)か
 最終(乗)の(た)天(山)本(公)園(り)
 海(で)景(色)か(楽) (ゆ)み(を)味
 段(少)飾(気) は(色)し(あ)め、
 照明(見)い(く)を(か)る(と)で(が) き
 山(下)公(園) 到(着)に(リ)ワ(マ)し(た)
 ニ(ニ)ミ(ヨ)ー(ク)白(め)シ
 ウ(眺)め(を)ぶ(ま)ん(指)さ
 中華街 通(抜) MM(2)竹(地)区(の)
 イ(王)宮(ク) 丸(へ)庄(に)一(つ)
 大(り)巻(ク)以(正)時(は)七(上)なる(は)ふ(は)ふ、(ぶ)たま(ん)あ(っ)た(か)い(な)
 音楽(甚)と(此)ミ(ネ) 様(ヨ)ー(若) M(2)1(ド)ク(ウ)ラ(ブ) (ザ)ス
 な(点)滅(で)タ(バ)す(オ)る(フ) (サ)ー(又)ン(ク)：(王)宮(ク) (勿)以(ス)
 行(が)れ(し)て。(し)た



新宿富久町 光発見 「!」 ト夕方 な口

先日仕事 新宿富久町で行 時つ 印象 残 光景 放
 報告で のすま靖国通 入 細か歩道りらし
 少上 すま先階段 下 の すま中程 立 にの
 外灯 区は物 、デで の特別は ザでんな 低 の
 圧 トリウ ナレ 回の石堰ジ階段 寒 を
 良 雰囲気 いで 昔 はし な女日か様い 感の
 動 返 行。しに際 夜たっ 見み たの下 て
 命名 トロ夕方 な 。

高橋勝美



筆者 横浜街歩 に

照明探偵団の 登場媒体

照明探偵団が登場した各種メディアについてご質問を受けることがよくあります。

以下 今年照明探偵団 登場 出版物 雑誌 し、ラ 番組 紹介才 出版物。しに は、て
以下 他 鹿島出版会 出版 か らCD 冊で 照明探偵団 』があま 。り

面出薫 著 「あなたも照明探偵団 光のハンティングに、夜の街へいざ -」(日経BP社) 発刊

ラド ケブ (イル出版) 照明探偵団 世界 都市照明 連載中

室内 工社 () 「あかり 毎月連載中 12月 終了で ()

朝日新聞夕刊 () 「光 遊 才」10月

読売新聞朝刊 生活探検「6.18」

グ ラTEPPO 東京電力 () 照明探偵団 0.10

POPEYE () ウチ 照明探偵団、下町 夜景 探検 の行 にを! し」 10

NHK 生中継 に 夜 夜景「街」 探検 北海道函館市 3.21 放映

文化放送 吉田照美「 気 MANON や5.13 放送

ML X リビ 邦 ヤル光 陰」と ヤ 猫 照明ンデくを 6.14 放映

WOWOW Sony Cosmic Base 照明探偵団 谷中 現 に0.17放映

NHK 首都圏 今日 東京 11.2 放映

NHK はお に 土曜よぼん イ 11.7 放映

投稿規定 ! 照明探偵団 日記

照明探偵団通信 vol.05 (次号)の原稿を募 今年 の クリスマス ショ 趣味や、な がてします が、ブ
集 独断で照明探偵 しのト 盛期、街 飾 模様 をつなごネ た 飾ヨー目 見張や り 姿も があま今年が、し
光 思 今日 日本 照明 の、に知 り 驚ては感動 きた がな思いに 既 準備。 が まででし 感動が痛し なが
疑問と思にこ ねてな など、な まででし の が世 相 気低迷の映の出 を 困でし の
何は結構マも 頃。 ひ か、あずいは も、しと気よ は 健康表参道 ち 飾けのキルを
かなに思 じい てるを なや ヨ 近隣住民 反対運動 裁判 話題 がにな まル 見ヨーシ
レト照明探偵団通信 発表に み集ま てる 悪 の原因一のが照明探偵団事務局 表参道 近 に あり
原稿 送付方法 のは、 年 覗 も み せてが、 平日 休日 間、 ず大変、表出 なで百。
原稿 形式 保存でテ 送付し たりは道 歩 は は照明探偵団事務局内 近隣住民側 に 見メが
e-mail 送付で (上記述 メ原稿 も 商店街 ぼドル 決行 -シす てる もの すまう。 近隣住民 た
トア 添付イ ーも) 迷惑 考への 録が設置 拾 川 イト 警備員、 随 配備
FAX 送付で 郵送 送付で 迷惑 考への 録が設置 拾 川 イト 警備員、 随 配備
ずい願でか お いいすま。また、れ 照明探偵 しはた、 たい 迷惑にしりた か 格は ちて
送付方 ね 考 方お 事務局の、 発 鳥 濁あ ず を。 徳 長は 眠、 い 方い てる、
相 謙 ぐ い。さ 迷惑と掛 けを 先 れ 敬し。ん ま しし。た

田中裕美子

【照明探偵団の 活動は 以下の20社 に 協賛 いた いてお ます。】
ルトロ 株式会社 岩崎電気株式会社 松下電工株式会社 三菱電機照明株式会社 東芝 ラ ッ株式会社 外系工業株式会社 三菱 レ 株式会社 ン株式会社 山田照明株式会社
小泉産業株式会社 トヨ 株式会社 一ツ 電機株式会社 湘南工作販売株式会社 株式会社 広 トト 日本電池株式会社 株式会社 ウ ッ 豊閉電気株式会社 ベ
大光電機株式会社 日本 イ 株式会社 株式会社 遠藤照明